

哀しみ、怒り そして彼等は 大和魂で戦った——


# 442

## 日系部隊 アメリカ史上最強の陸軍

*442 Live with Honor, Die with Dignity*

名誉のために命を賭け、栄光と偏見に挑んだ65年目の真実。  
兵士たちの最後の証言で綴るドキュメンタリー——  
知られざる歴史のヴェールが開かれる!



 TIFF 第23回 東京国際映画祭  
2010.10.23sat-10.31sun  
日本映画・ある視点部門 正式出品作品

[www.442film.com](http://www.442film.com)

北康利——ノンフィクション作家「白洲次郎 占領を背負った男」

凄い…凄すぎる…感動で涙が止まらない。  
彼らを誇らずして何を誇ろう。魂を揺さぶられる映画である。

日下公人——評論家

二十世紀における世界最大の事件は、  
日本人が白人の人種差別に単独で挑戦し、  
しかも勝ったことだが、それを現在の日本人は気がついていない。  
自分の名誉を守るという当然のことをしたまでだと思っている。

島村洋子——小説家「愛されなさい」

彼等は米国のために戦っているのに、  
どんどん日本人の美点を広める活動を  
しているようにも思える。  
442連隊にこそ大和魂は存在する。

山際澄夫——ジャーナリスト

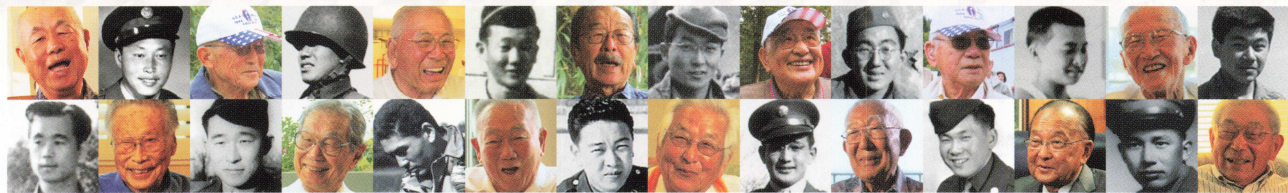
祖国とは何か、戦争とは何か、現代日本人にこそ観てほしい。

宮嶋茂樹——カメラマン

私も地獄を見てきたつもりですが、442の方々また日本の先輩からすれば、  
まだまだかわいいものです。それをワンワン泣き叫ぶことなく、  
さらっと言ってしまうところが、ホンモノの地獄を見てきた男の証でしょう。



平和を祈る元兵士たちのメッセージ。この表情、笑顔をご覧ください。



アメリカ陸軍442連隊は、第二次大戦時に日系二世で編成された部隊。アメリカ軍史上最も多くの特典章を受けた部隊として、歴史に燦然と輝く。本作は父母の祖国・日本と戦う苦悩を抱えながら、アメリカの中で人種差別と戦い、ヨーロッパ戦線ではファシズムと戦った伝説の兵士たちのドキュメンタリー。終戦後、トルーマン合衆国大統領は『諸君は敵だけでなく偏見とも戦い、勝ったのだ』と最大級の賛辞を送り、自ら生還者を激励した。アメリカ国内における日系人の地位向上に寄与しただけでなく、フランスをはじめとしたヨーロッパ諸国では、長期間ナチスドイツの占領されていた自分たちの町を解放に導いたヒーローとして、現在も語り継がれている。しかし、日系人強制収容所から出征した兵士たちが、ユダヤ人強制収容所を解放したという事実は、ほとんど知られていない。戦場での彼らの合言葉は『ゴーフォーブローク!(当たって砕けろ!)』。日系アメリカ人として、星条旗を背負って戦う自尊心と愛国心、その一方で敵性国民に指定された人種差別への怒りと哀しみ、葛藤を描いた問題作。現在、元兵士たちは80代半ばから90代と高齢になり、当事者たちによる貴重な証言はこれが最後になるかも知れない。

第23回東京国際映画祭 日本映画・ある視点部門正式出品

# 442 日系部隊 アメリカ史上最強の陸軍

第11回マウイ・フィルム・フェスティバル 観客特別賞受賞

企画・脚本・監督:すずきしゅんち 音楽:喜多郎 製作総指揮:鈴木隆一、早川敏和 共同総指揮:古賀哲夫  
チーフ・プロデューサー:寺坂重人 プロデューサー:岡野進一郎、羽田アン 撮影監督:小淵将史 編集:水原徹 ナレーション:レーン・ニシカワ  
出演:ダニエル・イノウエ (現米国上院議員)、スティーブ・シミス、ネルソン・アカギ、ジョージ・サカト、ジョージ・カナタニ、テッド・ツキヤマ、ローソン・サカイ、マツジ・サクモト  
ヨシアキ・フジタニ、ススム・イトウ、アーサー・イワサキ、エドワード・ヤマサキ、サム・サカモト、バーニー・ハジロ  
442フィルムパートナーズ作品 [UTB、フィルムヴォイス、NTTラーニングシステムズ、かねふくアメリカ、米国日本ハム、トレンド社]  
2010年/日米合作/カラー&BW/ステレオ/HDCAM/97分 原題:442 Live with Honor, Die with Dignity 配給:フィルムヴォイス ©442Film Partners

# 11月13日(土)よりロードショー

## 知られざる歴史のヴェールが開かれる!

特別鑑賞券発売中! ¥1,200 (税込) ●当日一般 ¥1,800の処

※右記劇場で公開記念トークイベント開催予定。詳しくはHP及び、劇場にお問い合わせ下さい。

……… 都 内 独 占 ロ ー ド シ ョ ……  
新宿駅東南口甲州街道沿 ドコモショップ左  
**新宿K'scinema** TEL:03-3352-2471  
http://www.ks-cinema.com

JR関内駅北口 伊勢佐木町2丁目ブックオフとなり  
**横浜ニューテアトル** TEL:045-261-2995  
http://yokohamanewtheatre.web.fc2.com/